

第 2 回浪江町除染検証委員会議事要旨

- 日時 : 令和 4 年 8 月 25 日(木) 13:00 ~ 14:40
- 場所 : 浪江町役場本庁舎 301 会議室
- 出席者 : 井上委員、塚田委員、床次委員、眞田委員(順不同・敬称略)
- 福島地方環境事務所 環境再生課 中村課長
- 福島地方環境事務所 環境再生課 川道専門官
- 福島地方環境事務所 環境再生課 上野調査員
- 福島地方環境事務所 浜通り北支所 浪江分室 渡邊支所長補佐
- 福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江分室 永田専門官
- 復興庁 福島復興局 大宮参事官補佐
- 復興庁 福島復興局 浪江支所 平浪支所長
- 福島県 生活環境部 中間貯蔵・除染対策課 清野主幹
- 浪江町 : 成井副町長
- 企画財政課 企画調整係 山田係長
- 健康保険課 放射線対策係 永田係長
- 住民課 柴野課長、佐藤課長補佐、田中主査

【資料】

- 資料 1 「第 2 回浪江町除染検証委員会事業計画」
- 資料 2 「浪江町特定復興再生拠点区域における解体及び除染の進捗状況」
- 資料 3 特定復興再生拠点区域の線量率マップ
- 資料 4 線拠点県道の除染施工計画工程表 ※内部資料のため非公表
- 資料 5 「委員会報告書における提言に対する対応策」

(添付資料) 「個人線量計の取扱方法～D-シャトル」

(添付資料) 「空間線量率の測定方法～精密博士」

(添付資料) 「特定復興再生拠点における被ばく線量評価結果について」

(参考資料①) 「個人被ばく線量事前推計システム」

(参考資料②) 「生活行動線量シミュレータ」

- 資料 6 準備宿泊についての説明会における質疑応答 ※個人情報含むため非公表

(別添資料) 「ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊（準備宿泊）について」

(別添資料) 「準備宿泊のしおり」

1 開会

発言者	内容
事務局	(開会宣言)

2 あいさつ

発言者	内容
成井副町長	(開会に伴う挨拶)

3 第2回浪江町除染検証委員会について

発言者	内容
事務局	資料1に基づき説明

4 議題

◆ 浪江町除染等進捗状況報告

発言者	内容
川道専門官	資料2、資料3に基づき説明。
井上委員	除染進捗マップで、室原から大柿ダムの方へ続いている部分は川ですか。未除染と除染完了しているところが混在しているが、未除染のところは除染されるのですか。それとも除染が必要ないということですか。
川道専門官	川ではなく国道114号です。114号線の道路自体は既に本格除染の時に除染をされていて、今は歩けるように外縁除染をしています。着々と進めていて、未同意のところも同意が取れば除染をしていきます。未着色以外のところは除染をします。
塚田委員長	未除染となっている着色部分のところも、除染予定ということですか。
川道専門官	そうです。着色しているところは除染をします。着色無しのところは急崖所などで対象ではないですが、色がついているところは、これから実施します。
井上委員	大柿ダムから流れる川がありますが、そのあたりの線量はどうですか。
塚田委員長	川自体の汚染はないと思います。

井上委員	川付近の人が簡単に入っていけるところなどの線量はどうか。
川道専門官	川自体の除染はしていないので、川の線量を測っていません。航空機モニタリングのみとなります。川べりにグラウンドが整備されていたりするような生活圏であればデータがありますが、川に沿ってのデータはありません。
井上委員	町はそのあたりはどう考えていますか。
副町長	川も森林と同様にやれていません。今後考えて対応していくことになると思います。内水面漁業もあるので、モニタリング等を検討してやっていきたいと思っています。
床次委員	大堀地区は赤枠の中が対象地でポイント測定をしていると思いますが、線量の数値は揃っているのか、それともバラツキがあるのでしょうか。
川道専門官	線量は似通っていますが、屋敷林があると高めの傾向です。 周囲の影響があるので、外縁除染をやって低減できるのではと思います。
塚田委員長	資料2の赤枠の円は全部やるのですね。それでも「点拠点」なのですね。 ポイント的に家とか窯とかだけを実施するのだと思っていました。ほぼ全域をやるのですね。
川道専門官	そうです。赤枠円の中はやります。
副町長	赤枠円の中は、ほぼ全てやる方向で、拠点外縁として幅広く除染対応してもらいました。ミニ拠点のイメージをしてもらえると。

塚田委員長	赤枠円の中に、さらに点拠点があるということですか。
川道専門官	そうです。この図は外縁も含んでおり、外縁は解除されません。
塚田委員長	この図だと、赤枠円の全部が拠点だと見えてしまいました。キワ（外縁）だと分からなく、誤解してしまいました。誤解がないように、分かるようにコメントを書いたほうがいいです。 道路の除染については、現在水路除染等を進めているとのことですが、いつ頃までには最終の数字が出るのでしょうか。どのくらいまで進捗（％）は伸びるのでしょうか。
川道専門官	残りは7ヘクタールとなっています。全体が480なので、残りの規模としては小さいです。年内には完了予定で、100%近くまでやれます。
塚田委員長	100%近くまでいくのであれば良かったです。
眞田委員	大堀点拠点の赤枠で、測定ポイントが無いところは、測定できていないということでしょうか。
川道専門官	まだ未同意のため、測定できていないところになります。

◆ 線拠点県道の施工計画及び状況について

発言者	内容
川道専門官	資料4に基づき説明。
塚田委員長	アスファルトを剥がして、下の砂利を除去すると、セシウムは取れている状況ですか。

川道専門官	アスファルトを剥がした状況で、まだその下は取っていません。取ってみてから調査をして対応を決めたいと考えています。
塚田委員長	分かりました。 片側通行で作業をする際は作業員を配置すると思いますが、作業員の被ばくも注意するようにしてください。 また、現地確認した際に思ったのですが、斜面が多いですが施工できるのでしょうか。
川道専門官	事前に調査をして除染ができる場所は確認をされていて、それで恐らく下がるだろうと考えています。
塚田委員長	分かりました。

◆ 準備宿泊に向けた委員会報告書に対する対応策等の状況報告

発言者	内容
永田係長	資料5に基づき説明。
塚田委員長	添付してある資料は住民に配布するということでもいいでしょうか。 また、①の「ホームページに掲載する」となっている予定表は、ホームページを見れない方への対応はどうなっていますか。
永田係長	準備宿泊開始の説明時に配布いたします。
塚田委員長	JAEAさんの資料協力ありがとうございます。やはり専門家に見てもらったほうがいいと思うので、大変助かります。

床次委員	小型端末とはGPSのものでしょうか。
眞田委員	参考資料②にある通り、スマートフォン自体にシステムが入っているものとなります。
塚田委員長	アプリではなくですか。
眞田委員	この端末自体を貸し出す形です。

5 その他

◆ 準備宿泊に関する説明会の結果報告

発言者	内容
山田係長	(資料6を基に説明会時の様子及び質疑応答等を報告。)
塚田委員長	現時点で準備宿泊の登録は1名ということですが、その方は線量測定の要望はありませんか。
山田係長	まだ要望はないのですが、9/1に防犯出動式を予定していて、マスコミも来ます。その際に、その準備宿泊者にインタビュー対応もしてもらうことになっています。 今後も継続して連絡を取り、聞き取りやアンケート等を続けていくことにより、避難指示解除された後の帰還を進めるための課題も見えてくると思いますので、要望を今後活かしていきたいと考えます。
井上委員	戻る方は営農をするのですか。
山田係長	希望されています。

6 閉会

発言者	内容
事務局	(閉会挨拶)